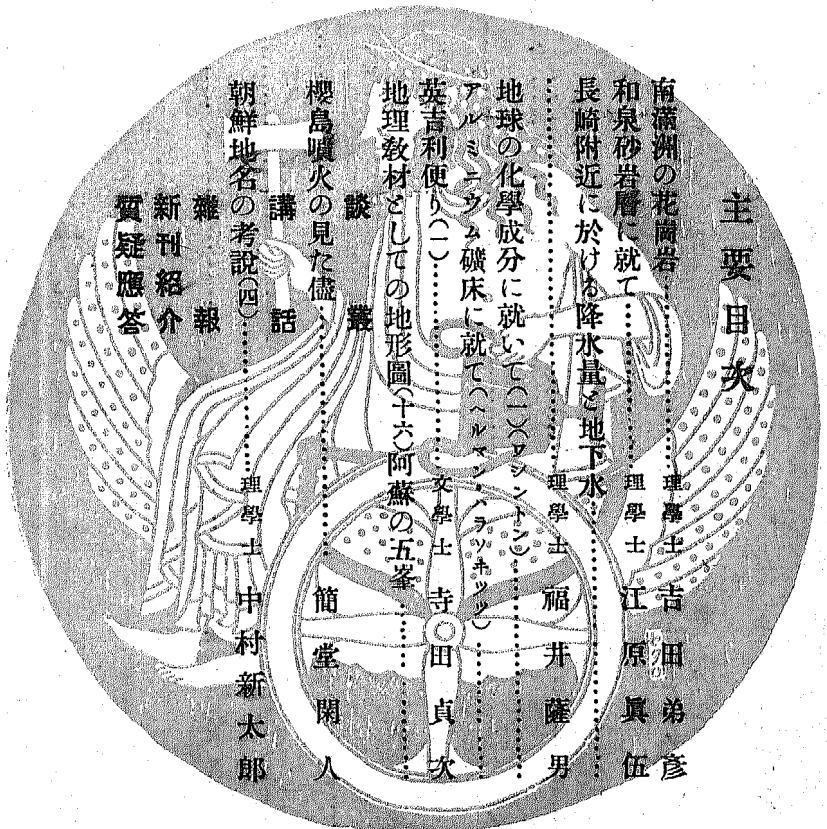


地球

第四卷第五號

大正十四年十一月一日發行



主要目次

南滿洲の花崗岩

和泉砂岩層に就て

長崎附近に於ける降水量

地下水

地球の化學成分に就いて

アルミニウム礦床に就て

英吉利便り

櫻島噴火の見た儘

朝鮮地名の考説

新刊紹介

質疑應答

理學士 吉田弟彦

理學士 江原眞伍

理學士 福井薩男

文藝士 寺田貞次

文藝士 中村新太郎

文藝士 簡堂閑人

文藝士 阿蘇の五峯

文藝士 寺田貞次

文藝士 中村新太郎

文藝士 簡堂閑人

文藝士 阿蘇の五峯

文藝士 寺田貞次

文藝士 中村新太郎

文藝士 簡堂閑人

文藝士 阿蘇の五峯

文藝士 寺田貞次

文藝士 中村新太郎

文藝士 簡堂閑人

文藝士 阿蘇の五峯

文藝士 寺田貞次

文藝士 中村新太郎

文藝士 簡堂閑人

京都帝國大學理學部

地質學教室

地球學團

第四卷第六號豫告

圖版 第八版 小坂鑛山鑛床の母岩

小坂鑛山地質概報

理學博士 渡邊萬次郎

溫泉岳前山の山崩説を駁す

理學士 佐藤傳藏

日本化石産地表(一)三重縣

地球の化學成分に就て(二)(アシントン)

カオリンの灼熱現象に就て(リンネ)

英吉利便り(二)

文學士 寺田貞次

地理教材としての地形圖(第十七)三津(瀬戸内の一例)

談叢

吾妻山破裂の追憶

工學博士 比企忠

講話

朝鮮地名の考説(五)

理學士 中村新太郎

地球學團第三回講習會開催豫告

多くの學團員諸賢から待ちに待たれた我が學團の第三回講習會を左の項目の通り地學の基礎である地質學及鑛物學の各方面を主題として開催する。本回も亦學團員の熱誠な御賛加を希望する。

開期 大正十四年十二月二十四日より同二十九日まで六日間。

會場 京都帝國大學理學部生物學講堂(地質教室の向ひ)

講義題目及講師

地殼論

鑛物學汎論

地史學一斑

古生物學總論

岩石學特論

講義時間割

午前九時
—
正午

午後一時
—
四時

十二月二十四日(木)
十二月二十五日(金)
十二月二十六日(土)
十二月二十七日(日)

小川	石川	横山	横山
石川	小川	中村	本間

小川 琢治
石川 成章
中村 新太郎
横山 次郎
本間 不二男

十二月二十八日(月)

本 間

中 村

見 學

十二月二十九日(火)

大和ニ上火山

指導者

本間、上治、君塚

茶話會

十二月二十六日午後四時半より六時半まで。

講習會員定數

百二十名

申込期限

十一月三十日迄に地球學團に申込むこと。

會費其の他

會費金五圓、御出席の上會期の初めに係員へ御納めのこと。猶見學の際の乗車賃

(約二圓)は御自辨のこと。

宿泊所

宿泊希望の向は前以て御通知あらば宿所を定め置く、一泊中食附二圓内外。京都市上

京區田中門前町四三(百萬遍西門横)村上靜宜館へ行かれると御便宜を計る。

講習會員資格

地球學團員に限る。此の際地球學團へ入團希望の方は「地球」購讀費半箇年分以

上を地球發行所なる内外出版株式會社(京都市下京區西洞院通七條南)へ前納した上、地球學團

へ宛て入團及び講習會賛加を申込まされたい。

大正十四年十月

地 球 學 團

地球

第四卷
第五號

地球

第四卷 第五號

目次

南滿洲の花崗岩 理學士 吉田 弟 彦 (三七)

和泉砂岩層に就て 理學士 江 原 眞 伍 (三四)

長崎附近に於ける降水量と地下水 理學士 福 井 薩 男 (三五)

地球の化學成分に就いて(ワシントン) (三六)

アルミニウム礦床に就いて(ヘルマン・ハラツキツ) (三七)

英吉利便り(二) 文學士 寺 田 貞 次 (三八)

地理教材としての地形圖(第十六)阿蘇の五峯 (三九)

談 叢

櫻島噴火の見た儘 簡 堂 閑 人 (三九)

朝鮮地名の考説(四)

..... 理學士 中村新太郎 (三九五)

雜報

- 廣島縣沼隈郡浦崎村の隕石
- 最上地方の蕨根
- 朝鮮江原道福辰山のデルコン
- 世界に於ける既成水力電氣

- 島根縣安濃郡波根西村の硅化木
- 新高山の高さ
- 奉天省の水田
- 希臘の養蠶
- 文檢地理科第四十三回豫備試驗問題
- 地球學團岡山支部の近況
- 墨西哥に於ける産業投資

新刊紹介

- 土石と其利用
- 丹那盆地附近地質調査報告

○富士山の自然界

質疑應答

- スコットランドの自然地理
- アイランド島の歸屬

○江蘇省の人文地理

前號(第四卷第四號) 火山號)要目

圖版 第六版 櫻島火山

第七版 咸鏡北道吉州邑東方の蠶頭山

火山現象に就て……………理學博士 小川琢治

硫黃島地質見聞記……………理學士 本間不二男

笠山雜觀……………文學士 小牧實繁

寒風山(地理教材としての地形圖第十五)……………

……………理學士 横山次郎

ベスピオ登臨記……………理學博士 松山基範

濟州火山島雜記……………理學士 中村新太郎

前々號(第四卷第三號)要目

但北地震の震源の深さと震源の性質に就て……………理學士 熊谷直一

東亞地質構造論から(下)……………理學博士 小川琢治

觀た地震現象の説明……………文學士 小牧實繁

古代四國の聚落到就て……………文學士 小牧實繁

關東大震災と神戸港……………西龜正夫

世界に於ける魔術の分布(三)……………夏見寛治

地理教材としての地形圖(十四)加古川附近……………

談叢

死の河の探檢……………F.G.スミス

講話

朝鮮地名の考説(三)……………理學士 中村新太郎

雜報

新刊紹介

質疑應答

地球學團規約

- 第一條 本學團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催
 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納する。本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納する。本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納する。
- 第六條 本學團員になりたいたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

- 購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候。
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候。
- 振替貯金にて御送金は、振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候。
- 前金切れの場合は「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候。
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候。

一冊(前金)	定價金五十錢	郵税金貳錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁金五拾圓 半頁は取扱不申

大正十四年十月廿五日印刷納本
 大正十四年十一月一日發行

第四卷
 第五號

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學理學部
 地質學教室内
 地球學團

右代表者 藤田元春

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 田中和一郎

印刷所 内外出版株式會社印刷部
 京都市四橋區船場七條南

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社
 振替口座 大阪三二九五番三九三一番
 東京三九三一番

賣捌所

- 本社 京都市下京區西洞院通七條南
- 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
- 販賣所 京都市神田區錦町一ノ十九
- (東京) 東京堂
- (大阪) 上田屋
- (京都) 寶文館
- (神戶) 共盛社
- (名古屋) マガジン
- 東海堂 北隆館
- 誠社
- 文進社
- 日盛社
- 川瀨書店

CHIKYŪ—THE GLOBE



Vol. IV. No. 5.

November, 1925

Granites of South Manchuria.....	
By O. Yoshida, <i>R. S.</i>	337
On the Izumi Sandstone.....	
By S. Yehaha, <i>R. S.</i>	345
Precipitation and Underground Water near Nagasaki, KiushiuBy K. Kinoshita, <i>R. S.</i>	358
The Chemical composition of the Earth.....	
(H. S. Washington).....	362
Aluminium Deposits (H. Harassowitz).....	374
Geographical Correspondence from England.....	
By T. Terada, <i>B. S.</i>	381
Topographical Maps recommended for Schools (16).....	386
Experience at the Eruption of Sakurajima, Kiushiu.....	
By S. Ishikawa, <i>R. S.</i>	389
<hr/>	
Place Names of Korea (4).....	
By S. Nakamura, <i>R. S.</i>	395

Geographical Notes—New Books—Inquiries

Chikyū Gakudan
Kyōto.